



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA
THE Y'S MEN'S CLUB OF
NISHINOMIYA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB — CHARTERED MAY 17TH, 1948

主題(2014-2015)

- 国際会長(IP) Isaac Palathinkal アイザック バラシンカル(インド)
"Talk Less, Do More" 「言葉より行動を」
スローガン "Do it Now" 「今すぐやろう！」
- アジア会長(AP)Yaz Okano 岡野 泰和(大阪土佐掘)
"Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
スローガン "One Asia One world" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 西日本区理事(RD) 松本 武彦(大阪西)
"To walk together,echoing each other" 「響きあい、ともに歩む」
—こころ豊かにワイス活動を展開し、ワイススピリットをつないでゆく—
- 六甲部部長(DG) 多胡 葉子(宝塚)
『わたしとあなたのY'sダムをYMCAと共に ユース・交流・地域』
- 西宮クラブ会長(CP) 山口 吉郎
『もっと楽しく、そしてワイスダムらしく！』
"Let's enjoy Y's activities"
- ★ 2015年2月 西日本区強調ポイント "TOF,CS,FF"
渡壁十郎 地域奉仕・環境事業主任(長浜クラブ)
「身近なボランティア、献金にご協力をお願いします」

我らのモットー:強い義務感を持とう、義務はすべての権利に伴う
To acknowledge the duty that accompanies every right !

2015年2月第802号

《68期7号》

Since 5.17.1948

スポンサークラブ

- ・大阪クラブ
- DBC 締結(2007)
- ・近江八幡クラブ
- ・広島クラブ

クラブ主役員

- | | |
|-----------|--------|
| 会長 | 山口 吉郎 |
| 副会長 | 山本 常雄 |
| 直前会長 | 堤 一幸 |
| 書記 | 廣瀬 一雄 |
| 書記 | 西山 茂夫 |
| 会計 | 足立 康幸 |
| 会計 | 濱崎 進一 |
| 監事 | 岩田 健司 |
| 担当主事 | 宗行 孝之介 |
| 部地域奉仕環境主査 | 堤 一幸 |

今月の聖句 選者:藤原百合子メン

「復讐してはならない。民の人々に恨みを抱いてはならない。自分自身を愛するように隣人を愛しなさい」

(レビ記 19章18節)

2015年2月第一例会ご案内

日時 2月13日(金) 19時~21時30分

会場: 西宮YMCA 保育園 3階

ドライバー:濱崎ワイス、三島ワイス

TOF例会

開会点鐘

1. 聖句朗読 ワイス
2. ワイズソング
3. ゲスト・ビジター紹介 山口会長
4. 西宮ユースリーダー報告
5. スピーチ
「西宮市留守家庭児童育成センターの経緯
現状、課題について」
西宮YMCA 大塚雅人主事
6. 盛岡YMCA宮古支援DVD試写
7. お誕生日お祝い
8. ワイズ・YMCAニュース
閉会点鐘

【1月例出席状況】

第1例会(1.9日)

メン 23名(内 MU6名)

メネット・コメット 5名

ゲスト・ビジター 2名

合計 30名

出席率 100%

在籍数 23名

第2例会(1.23金)

メン 12名

メネット・コメット 0名

ゲスト・ビジター 0名

合計 12名

(累計出席率 98.1%)

【お誕生日】 小野勅絃メン(2/3)、宗行孝之介メン(2/3)、
阪根紀子メネット(2/12)、山本常雄メン(2/21)、
西山安子メネット(2/23)、長井多美子メネット(2/25)、

【ファンド・BF 累計】1月

ニコニコファンド ¥5000 累計 ¥23367

Brotherhood Fund(目標 345\$) ¥0 累計 ¥16200p

東日本大震災 Fund(目標 ¥27600) ¥0 累計 ¥10800

【会長メッセージ】

会長 山口 吉郎

昨年の11月頃から次期会長を担っていただける方を求めて、会長未経験の方を優先的にお願いし交渉を続けましたが、どなたもそれぞれの事情がおありで色々ご返事をいただけませんでした。次に会長経験1回の方に鉢先を変更して交渉を続けましたが、なかなか進展しないまま年号が変わってしまいました。やっとOKのご返事をいただいたのが、1月23日の朝という締切間際ぎりぎりでした。引き受けてくださった浅野ワイスの大決断に感謝いたします。昨年の私の場合もなかなか決心がつかなかった事を思い出しました。本能的に面倒なことから逃げようと思ったのが正直なところです。

ということで、

次期会長：浅野純一ワイス

次期Yサ・ユース主査：山口吉郎ワイス

次次期六甲部長：長井慎吾ワイス

に決まりました。

皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

【第一例会報告】

ドライバー 馬場一郎ワイス・丸山悦治ワイス

2015年1月例会を賀川記念館で行いました。新しい年の幕開けは、西宮クラブのネットであり、“プラス ONE ネット”を主催されている西山安子さんにお話を伺いました。

配布された資料には、「ボランティアの学習と体験は、あなたの生活に変化を起こします。一人ひとりの主体的な参加やかかわりによって、私たちはグループからチームになります。自分に出来る小さなことから、あなた一人から始める、あなた自身の活動です。『ちょっと生活に磨きをかけてみませんか』、『素敵な市民に成長しましょう』、Let's spell a little magic upon your life!」と書かれています。

自分自身の経験から話されたボランティアの意味、肩肘はらない等身大の考えに共感しました。たくさんの学習と体験を計画、実施されており、その活動に参加されたみなさんのお話も聞くことができました。

カナダバンクーバーの親子の“たまり場”での子育て支援のボランティア。インド、マザーテレサが開設したマザーハウスでのボランティア。モンゴルの貧困地域への支援…、ボランティア先とのコーディネイトや安全への配慮等、いろいろな困難なことがあったのではないかと思います。それらを乗り越えて、結果的に自分自身を“変える”体験になったことやその感動が語られました。楽しくなければ、また身の丈に合った活動が、実施されてきたんだなあということがよくわかりました。YMCA やワイスメンズ

クラブが、もう一度帰つてみる場所がここにはあるような気がして、改めていろいろと考えさせられるお話をでした。

メン18名、ネット6名、ゲスト2名の参加があり、講演の後天国屋カフェのおいしいお料理をいただき、2015年のスタートを楽しく切れた例会になりました。

【2015震災YYフォーラム】

小野 勅紘ワイス



今年のYYフォーラムは、阪神淡路大震災から20周年で、神戸YMCAが建替中ということもあり、2015年1月17日(土)13時から、神戸栄光教会をお借りして、「共にいたみ、希望に生きる」と銘打って開催されました。

南隣の兵庫県公館では天皇皇后両陛下をお迎えし、「阪神淡路大震災20周年記念追悼式典」が開催されているので、付近は大変物々しい警戒の中。神戸栄光教会も震災で全壊し、再建されたものです。

さて、礼拝堂での第一部は、最初に礼拝があり、続いて当時6,434名の犠牲者の冥福を祈り、震災の様子が映像で流されるというプロローグ。

第一部終了後、地下集会室で第二部に移り、佐久間真人主事(元神戸YMCA職員)の奨励から始まりました。佐久間さんは当時一番被害の大きかった長田地区、特に半壊した「西神戸青少年センター」周辺の復興支援に携われました。佐久間さんは現在、同盟の東山荘に勤務し、東日本大震災では神戸の経験を買われて、最初に宮古に駆け付けて、支援の礎を作った方です。

強調されたのは東日本大震災でも共通の「心つながり」で、被災者は支援を受けるばかりの引け目を感じているとのことです。関西では吉本芸人の口癖のような笑い話で「頑張れよ」「おまえも頑張れよ」といった掛け合いは通じない。もう充分頑張っているのにこれ以上どう頑張ったらしいと。長田のおばちゃんはこの「頑張れよ」という言葉が大嫌い。五重ローンも笑い飛ばす勢い。「ローンで死ななかんことは一つもない」とね。

奨励も最後に差し掛かったところで胸の熱くなるような言葉をお聞きした。予備校、ホテルが閉鎖され、キャンプも出来なくなつたYMCAがどのようにして自活し、復興を支援してきたのか今迄不思議でした。当時私はワイスのメンバーではなかったのですが、当時全国の比較的大きなワイスの有志で神戸YMCAの職員の生活費を支えていたとのことで、ようやく謎が解けた思いでした。佐久間主事の生活費は当時チャーター間もない熊本ジェーンズクラブの皆さんのが1年間に亘って支えて下さったそうです。皆様には只々感謝の気持で一杯です。

私は震災の翌年、会社からの帰途飲酒運転の車に撥ねられ右大腿骨複雑骨折、左側頭部骨折の瀕死の重傷を負い、半年間入院加療を余儀なくされて、震災復興支援は会社を通した顧客対応と両親宅の支援に留まり、YMCAを通しての支援は出来ず終いました。

震災10周年目の2005年6月に、神戸で西日本区大会が開催された折の実行委員長は当時の総主事でした。その前年、各部会にアピールに伺う度に実行委員長が涙を流されていましたが、その涙の意味が10年前の感謝の涙であったことが20年目にしてようやく分かりました。



困った時はお互い様ということでしょうか。そういう気持は今後も東日本震災地域復興にも「共にいたみ、希望に生きる」意味が言えることでしょう。佐久間主事の奨励の後、ユース3人が震災へのメッセージを発表し、各グループに分かれ話し合い、この日の纏めを一言で紙に書いて発表し、解散となりました。我がグループの言葉は「FACE TO FACE（爺婆～孫まで）」にしました。

この日は皆様に代わって熊本ジェーンズクラブの皆さんには改めてお礼を申し上げる想いでした。西宮クラブからの参加者は浅野、小野、堤、廣瀬、藤原、三島、宗行、山本の各8メン。

【ワイズニュース】

会長 山口吉郎

- 1/6(火) メネット連絡会 神戸YMCA
第2回チャリティコンサート実行委員会
役割分担確認 チラシ配布計画他
山口まり子メネット
- 1/9(金) 第一例会 賀川記念館
講師:西山安子メネット 新年会(別項参照)
- 1/10 後期報締切:1/5六甲部に提出
- 1/10(土) 近江八幡クラブ新年例会
廣瀬メン・メネット、山口吉郎メン出席
- 1/17(土) YYフォーラム 13:00～
神戸栄光教会(別項)
- 1/17(土) 中西部新年例会 茨木市役所
- 1/24(土) 神戸YMCA支援イベント 14:00～
「すべてのいのちが光かがやくように」
カトリック神戸中央教会

・講演 田口壮氏 ・スーパーキッズオーケストラ
・トークセッション(石田由美子氏 水野雄二氏
パスカル・アチアリ氏 廣瀬幸児氏 啓明学院生
小中校生)

8. 1/29(木) 第2回六甲部EMC事業委員会
賀川記念館会議室 長井メン
9. 次期クラブ会長、Yサユース主査、次次期部長
が次のように決しました。
次期会長:浅野純一メン(2回目の登板です)
Yサユース主査:山口吉郎メン
次次期六甲部長:長井慎吾メン
- ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇
10. 2/7(土) さんだクラブバレンタインコンサート
14:00～ ウッディタウン市民センター
11. 2/9(月) 六甲部部則の検討会 ホテル竹園
19:00～21:00 山口政紀メン
12. 2/13(金) 第一例会 TOF 西宮YMCA
13. 2/23(金) クラブ会長・総主事懇親会
18:30～ 神戸YMCA
14. 2/27(金) 第二例会
15. 3/7. 8 西日本区次期会長・主査研修会
16. 3/21 六甲部第2回評議会 神戸YMCA
17. 3/21 西宮YMCAファミリープログラム
18. 4/4(土) 希少難病患者支援チャリティー
コンサート 14:00～ 神戸栄光教会
・マリアハープ演奏 -長田高校音楽部合唱
・東海大 佐藤準教授「希少難病に関するお話」

【YMCA ニュース】

宗行 孝之介ワイズ



いつもお支えありがとうございます。インフルエンザが猛威を振るっています。みなさまお元気でしょうか？

さて、巷では「阪神淡路大震災20周年」でさまざまなニュースが溢れています。YMCAでもユース委員会主催でわいわいフォーラムが行われました。今回は震災時に旧西神戸会館で救援活動を行い、また東日本でもご存知宮古センターの立ち上げ時に日本YMCA同盟から派遣され尽力した佐久間真人主事(東山荘副所長)を招いてお話をもらいましたが、彼は実は私の高松・余島勤務時の余島キャンプリーダーで長らく私とも仕事をしてきました。宮古救援時はボランティアコーディネーターとして初期のボランティア、これは横浜YMCAに少し関係していた登山家のネットワークから始まったのですが、この立ち上げ時に大きな貢献をしてくれました。「何故YMCAのゼッケンを身にまとつて活動しないといけないのか?」「なぜ、YMCAのコントロールを受けないといけないのか?」

「なぜ、ミーティングのときにお祈りしなくてはいけないのか」ともう連夜の激論が交わされ、途中離脱する人間や、反目、あるいは人間関係の破綻寸前までいったと聞いています。そんななかで被災者支援を通じて援助者自身がグループのなかで相互に影響しあって成長してゆく過程をさまざまと見せ付けられた、そう、そこにはYMCAキャンプがあつたということ、そしてそのはたらきはボランティアコーディネーターというよりまさしくキャンプリーダーであったということ、また、今井鎮雄さんがかつて震災時に西神戸YMCAで「この活動とキャンプにYMCAスピリットが凝縮されているんだよ。」と教えてくれたこと、が何故か重なる震災20周年です。

【リーダー会便り】

船橋秀暢リーダー

1月の例会ではキッズではお餅つきをしました。それぞれのメンバーがおもちをついたり丸めたり、とてもがんばっていました。
ジュニアでは摩耶山を登りました。どのメンバーも大きな怪我もなく、無事に山頂まで登ることができました。

シニアでは3つのルートを提示し、それぞれのグループのメンバーが話し合い、その中からルートを選んで奥池まで登山をしました。
どのセクションのメンバーも笑顔が溢れています。私達の活動が安全で楽しく、充実して行うことができるのも多くの方々の協力があってだと思い感謝しています。これからも御支援と御協力をお願いします。

【西日本区だよりー7】

小野 勅紘メン

次期キャビネット忘年会(12. 13)

今年半年間は西日本区の次期への準備に余念がなく忙しかったが、多忙な中でも結構充実していました。それというは遠藤次期理事キャビネットの仲間たちは、遠藤次



期理事をはじめとても思いやりというか愛に溢れた方々ばかりであると感じているからです。

毎月の準備委員会も早くから準備して「西日本区次期役員会」に臨む場合も周到なりハーサルも経験してきた。きっと次期の活動は充実したものになるであろうと期待している。ただ一番の懸念は次期理事をはじめ皆さんの「健康」である。2年以上(理事は6年)の長丁場を乗り切っていくための「体力」を醸成していきたいものである。無理のない、しかも周到な準備に心掛けたい。

さて、2014年も押し詰まつた師走の12月16日クリスマス・忘年会の締めの集まりがディープ大阪天満の焼肉店「玉一」で持たれました。泉北クラブからは初めてである猪瀬事務局員や松野会長も参加され、家庭的な雰囲気を味わった。この席で青色LEDの大家である猪瀬メンから、自作のクリスマス用マグカップの披露があった。(これは年末ぎりぎりに名前入りで送られてきた。クリスマスは終わってましたが、ありがとうございました。)

猪瀬メンはかなり独創的な方で、西日本区大会のアピールでは自作の「アホウドリのお面」と「サングラス」でアピールしようこれも奥様が寝静まつた夜更けに自作した作品を持参された。果たして採用されるか否や。全員で「アホー、アホー」と鳴いてみようというらしいが、これで皆さん西日本区大会に来ていただけるかどうかな?

とても明るくて、ゆかいな面々のユーモアに包まれて今年も無事暮れ行く2014年でした。それはさておき今年は色々なことがありました。皆様にとってはどんな1年だったでしょうか。そして新しい2015年が良き年でありますよう、お祈りいたします。

→後列右から遠藤次期理事、山田事務局長、前列右から飯沼会計、松野会長、小野(EMC)、正野書記

→前列左から、河合(Yサ)、川上(地域)、遠藤典子(ネット)、後列左から猪瀬事務局員、小野(EMC)、遠藤通寛次期理事、中井(国際・交流)

次期理事キャビネット新春顔合わせ会(1. 9)

西宮クラブの第一例会のこの日、次期理事キャビネットの今年第一回目の顔合わせの集まりがありました。会場は、昨年忘年会の開催された同じディープ大阪の天満の寿司店「すし政」。私は西宮クラブの第一例会を抜け出して駆け付けましたが、地理が分からず迷ってしまい、到着したのはもうそろそろ“お開き”という頃。その後の“木箱”に腰かけての二次会に「さすが大坂」という新年のスタート。いよいよ「次期会長・主査研修会」も近づいてきました。

2月16日の最後の準備会を経て本番に臨みます。

←左より遠藤典子、飯沼、河合、小野、遠藤次期理事、山田、正野の各面々。撮影は12日にお仕事で渡米の中井メン)

【宮古訪問記1】

宮古へ西宮ワイズ4人で訪問!

廣瀬 一雄ワイズ



昨年の10月30日に仙台からレンタカーで岩手県宮古市へ西宮クラブのメンバー4人で訪ねてきました。

私は、と言えば2013年の8月に一人で観光ボランティアと称し、宮城県内各地を電車とバスで5泊6日の旅をし、岩手県内へは一

関・中尊寺付近だけでした。

西宮クラブは東日本大震災以来、宮古市の16の施設での製品販売を“宮古ショップ”として支援を続け、ワイズメンズクラブ東・西日本区大会、市役所前の六堪寺公園での西宮ふれあいフェスティバルなど、様々な箇所で販売し続けています。

また毎年訪問団を結成し宮古を訪れていますが、私

自身、家庭の事情で過去一度も団に同行することが叶いませんでした。この度多忙な皆さんとの日程調整が実現し、山口政紀メン、山口吉郎メン、山本常雄メンそして私の4名での訪問。宮古市到着

後真っ先に宮古ボランティアセンターを訪れ斎藤所長をお尋ねしました。所内で話しをお聞きした後、すぐお隣の宮古教会の森分牧師にご挨拶に行きました。今夜の懇親会での再会をお約束した後、約束の時間迄目一杯、夕闇迫るまで斎藤所長に被災地をご案内いただきました。(写真は田老のホテル前で斎藤所長と3名の西宮ワイズ)

【宮古訪問記2】

廣瀬 一雄ワイズ

10月30日(木)初日の、陽もとっぷり暮れて熱帪が恋しくなり始めた頃となり、ふれあいネットワーク代表の昆野さん達が予約してくれた会場へと向かいました。そこには若竹会の仲田さん、梅澤さん、宮古地区いきいきワーキングセンターの斎藤さんがおられました。先ほどご挨拶した宮古教会の森分牧師と、同行で案内してくれた宮古VCの斎藤所長と我々4名で懇親会。私は皆さんとは初対面でしたが、おもてなしに旧知の仲のように話がはずむ楽しいひと時でした。

翌2日目の31日(金)の朝から斎藤所長、昆野さん、仲田さんに岩泉町にある草木染めの作業所へ案内して戴いたのち名勝・浄土ヶ浜へ。昼食後斎藤所長とお別

れし昆野さん、仲田さんと一路アビリティーズの名称をもじった道の駅“あびさあべ”へ。長いお付き合いとお世話に感謝し、ここでお別れ。くねくねと山

あいを抜ける国道をひた走り、約二時間。やっとこさで盛岡市に。そして今夜は芦屋クラブのDBCもりおかクラブの懇親会にお招きをいただきました。

